

## 『バトン 1.17～震災28年あの日を知らない子どもたちへ～』

1月17日（火）に、4年生の防災学習の様子や避難訓練の様子が、サンテレビジョンの特別報道番組で報道されました。

阪神淡路大震災から28年です。震災から学んだことを後世に伝えていくことが今生きている私たちの使命だと思います。

阪神淡路大震災では、どんなことが起こっていたのか。そして、それに備えるためにどんなことをするとよいのかを考え実行することが大事です。



### 4年生の防災学習（サンテレビジョン報道より）

#### 『知って 伝えて 備える 小学生が考える命の大切さ』

4年生の子どもたちは、阪神淡路大震災が発生した当時は、まだ生まれていませんでした。子どもたちは、阪神淡路大震災がどのようなものであったかを、当時の映像を見ながら、想像しました（知る）こと。

そして、4年生は、阪神淡路大震災で兄を亡くした**高光さんが伝えたいこと**を考えました。



いろいろな気持ちがあるけれど、一番知ってほしいのは命の大切さや、亡くなった人たちのためにも一生懸命に生きてほしいということを伝えたいと思います。



命はすごくもろくて、災害一つだけで、たくさんの命が亡くなってしまおうということを伝えたいと思います。



亡くなってしまった人の分の生きる喜びと幸せを背負って、これから生きていってほしいということを伝えたいと思います。



《自分自身の備えについて考えました》

みなさんは、地震に対してどんな備えができますか？**普段から備えられること**ってどんなことですか？



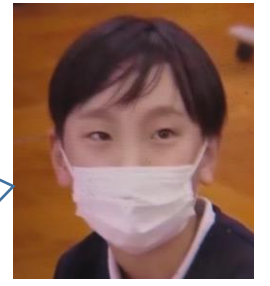
寝るところの手元に懐中電灯を置きます。地震とかで停電が起きた時に、懐中電灯があると明るくできるからです。

地域の人とあいさつとか会話をして、自分のことを知ってもらおうことです。

地震とかがもしあったとしても、顔を知ってもらっているから会わなくなったら心配してくれると思うからです。

みなさんは、地震に対してどんな備えができますか？**普段から備えられること**ってどんなことですか？

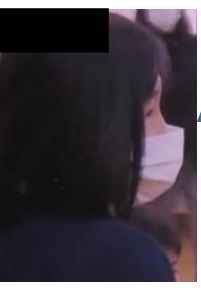
地域の人とあいさつとか会話をして、自分のことをしてもらおうことです。



地域の人ときちんとあいさつをして、自分のことを覚えてもらうことです。



地域の人に、「おはようございます」とか「さようなら」とあいさつをしています。



いろんな人にあいさつをして、地域の人たちに助けてもらえるようにしたいです。



普段からあいさつをして、地域の人と交流を深めて、自分たちの顔を覚えてもらうことです。

あいさつが、災害時の助けになります。



《サンテレビジョンの特別報道番組を見られた地域の方からの声です》

○4年生の子どもたちが、『災害に備えること』についてしっかり考えていましたね。感心しました。地域とのつながりについてたくさんの子が考えてくれていて、とてもうれしいです。感動しました。

○あいさつを通して地域の人たちとつながっていきたくてたくさんの子もたちが言っていましたね。うれしいことです。

「**知ること 伝えること 普段からの備え**」どれもみなさんの大切な命を守ることにつながっています。  
自分の命と家族の命を守るために備えてください。



地域の皆様、いつも本校教育活動を温かく見守ってくださり、どうもありがとうございます。そして、励ましのお言葉をありがとうございます。子どもたちをはじめ、教職員一同、とても励みになります。ありがとうございました。

## もち米販売を行います (4年生)

3・4年生が、地域の米作りボランティアさんのご協力のもと、もち米を育て収穫しました。そのもち米を来る1月28日(土)に、予約販売いたします。現在、もち米の予約を受付中です。もち米販売の収益金は、平荘小学校の閉校事業(児童会活動等)の費用にあてさせていただきます。



4年生の子どもたちは、もち米販売に向けて主体的に活動ができています。素晴らしいです。